

タイトル (65pt)

サブタイトル (36pt)

Title in English (32pt)

芸工太郎 (32pt) GEIKO Taro

2014年入学 | 音響設計学科 Department of Acoustic Design (18pt)

分類: 卒研 / 修士 / コンペ / 課題等

作品 / 論文: 作品

制作年度: 2017年度

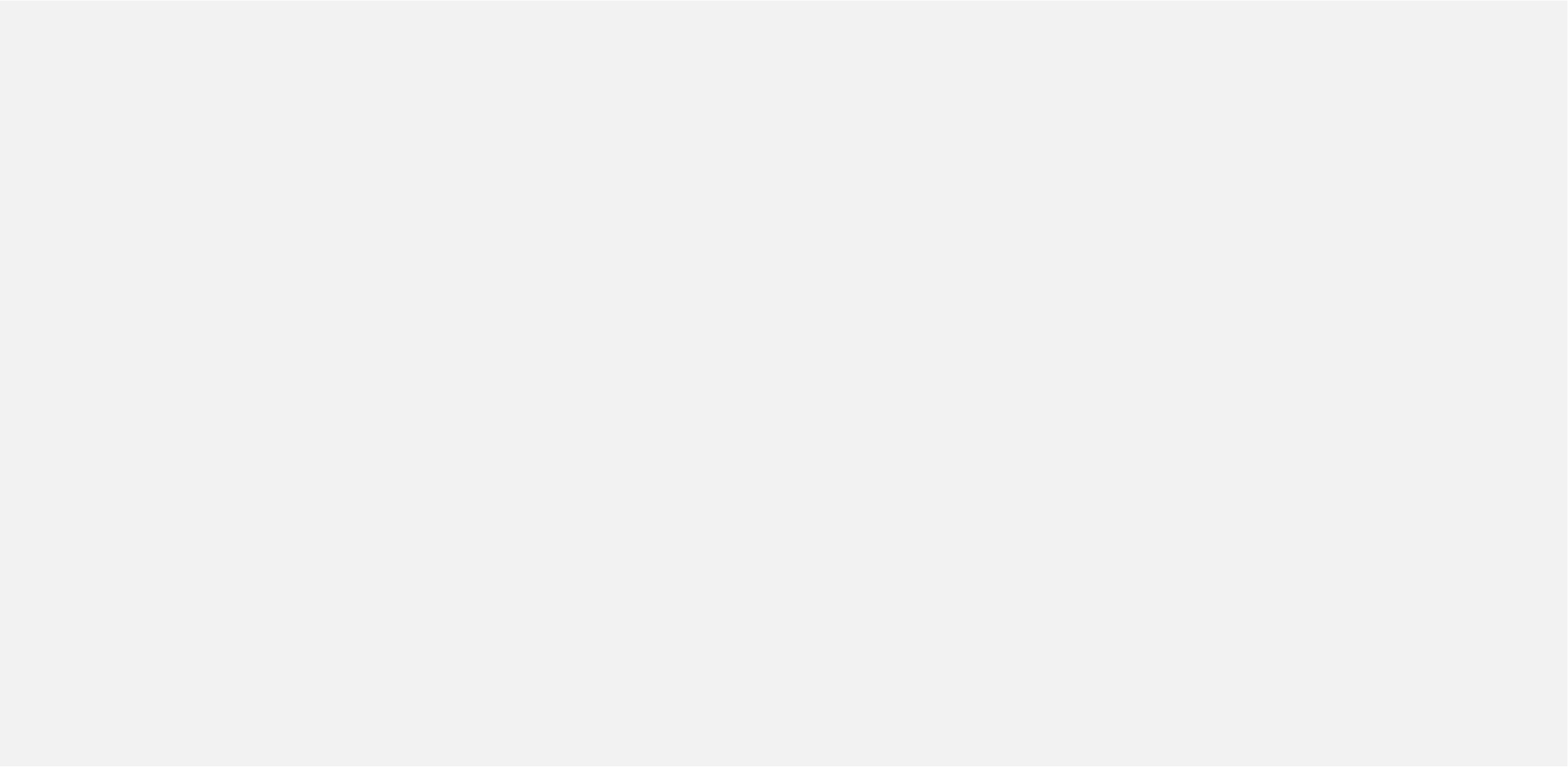
課題概要: 映像 / 音楽等

受賞等: ○○優秀賞等

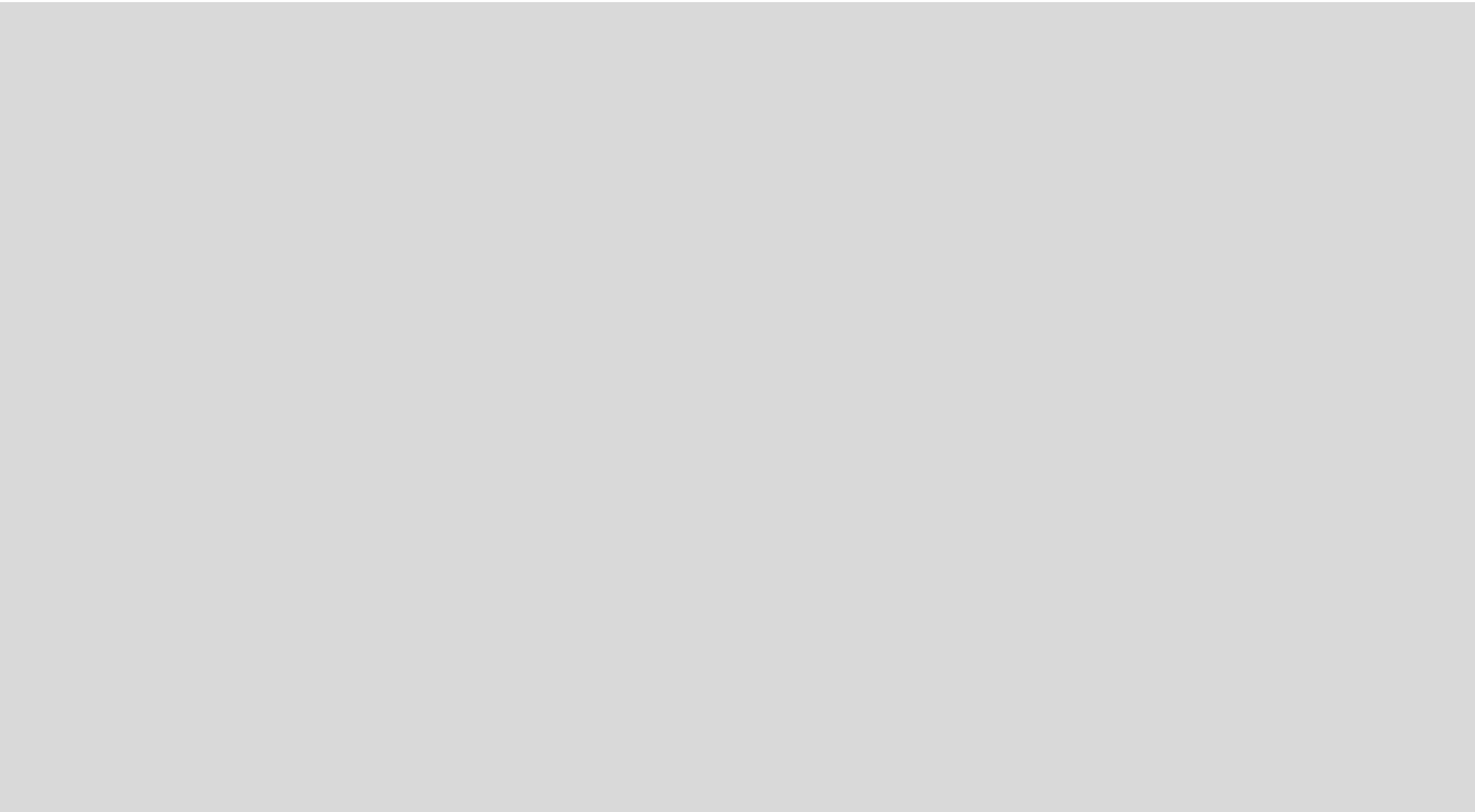
タイトル(65pt)
サブタイトル(36pt)
Title in English(32pt)
芸工太郎(32pt) GEIKO Taro

2014年入学 | 音響設計学科 Department of Acoustic Design (18pt)

分類: 卒研／修士／コンペ／課題等
作品／論文: 作品
制作年度: 2017年度
課題概要: 映像／音楽等
受賞等: ○○優秀賞等



キャプション



キャプション



キャプション

芸術工学部教育の目的、性格については、本学の設立当時の昭和43年 1 月19日の大学設置審議会大学基準分科会において決定された「芸術工学部の基本的なあり方について」の中に、次のように示されている。 1) 一般技術を人間生活に適切に利用するために、技術の基盤である科学と、人間精神の最も自由な発現である芸術とを総合し、その全体的な精神によって技術の進路を計画し、その機能の設計について研究することを目的とする。 2) 現代社会の組織の複雑化、大学卒業者の活動分野の拡大に伴い、在来の特 門家のほかに人文、社会、自然の諸科学にまたがる知識と芸術的感性を基盤とする総合的な設計家が要求されつつあり、この要請に応えることを目的とする。これを受けて、本学の学則の第 1 条には、本学の目的として、「本学は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、技術を人間生活に適切に利用するために、技術の進路を計画し、その機能の設計について研究するとともに、人文、社会、自然にまたがる知識と芸術的感性を基盤とする設計家を養成することを目的とする。」と明記している。

本学はこの目的を踏まえて、その使命を次のようにとらえ、教育研究の基盤としている。近代の科学技術の発展は、人間生活を豊かにする反面、時として「技術」の独走に陥り、いわゆる人間疎外の現象が現れていることも否定できない。このような現象をいかに回避し、「技術」をその本来あるべき位置に正しく据え、かつ、いかに機能させるかということとは、技術を特色とする現代文明最大の課題の一つであるといつてよいであろう。しかも、この問題の解決は極めて困難であるとともに、はなはだ多岐にわたることはいうまでもない。これら多岐にわたる問題解決の方途のうち、当面最も重要なことは「技術の人間化」である。

技術の人間化とは、一つには、技術の発展自体を人間的基準に立脚して進めることであり、二つには、技術の発展を人類の福祉と人間生活の一層の充実に役立たせることである。本学では、技術の可能性を研究するとともに科学的な思考と芸術的な陶冶に基づいて、技術の人間化を達成するため、新しい教育体系の下に、既に述べたような創造性豊かなデザイナーの養成を目的としている。デザインは、デザインスキルやデザインテクニックの表現能力や技能面だけではなく、デザインマインドやデザインフィロソフィーというデザイン思想も重要である。

以下フッタ

タイトル (65pt)

サブタイトル (36pt)

Title in English (32pt)

芸工太郎 (32pt) GEIKO Taro 2014年入学 | 音響設計学科 Department of Acoustic Design (18pt)

分類: 卒研 / 修士 / コンペ / 課題等

作品 / 論文: 作品

制作年度: 2017年度

課題概要: 映像 / 音楽等

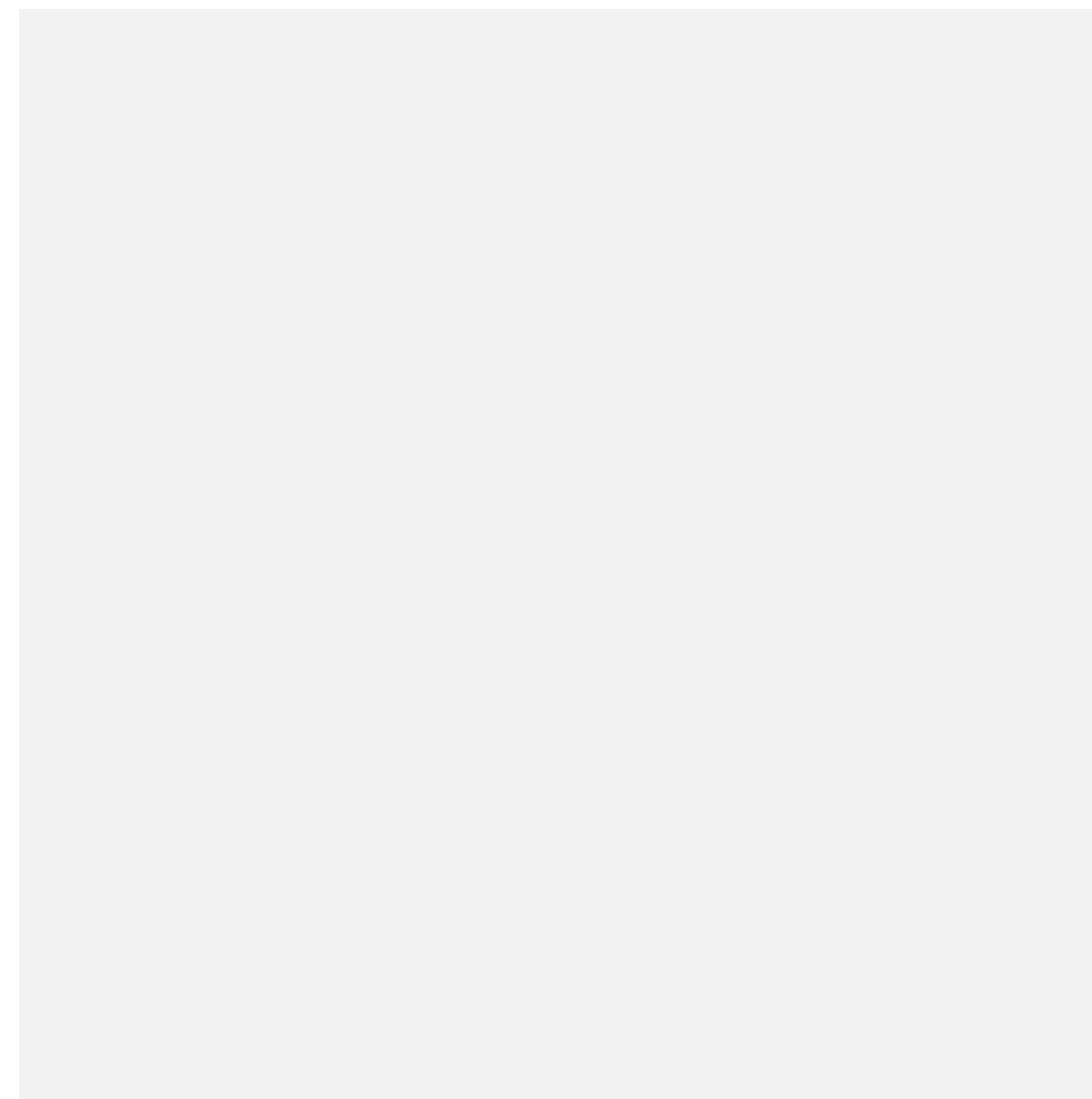
受賞等: ○○優秀賞等



キャプション

芸術工学部教育の目的、性格については、本学の設立当時の昭和43年1月19日の大学設置審議会大学基準分科会において決定された「芸術工学部の基本的なあり方について」の中に、次のように示されている。1) 一般技術を人間生活に適切に利用するために、技術の基盤である科学と、人間精神の最も自由な発現である芸術とを総合し、その全体的な精神によって技術の進路を計画し、その機能の設計について研究することを目的とする。2) 現代社会の組織の複雑化、大学卒業者の活動分野の拡大に伴い、在来の特門家のほかに人文、社会、自然の諸科学にまたがる知識と芸術的感性を基盤とする総合的な設計家が要求されつつあり、この要請に応えることを目的とする。

芸術工学部教育の目的、性格については、本学の設立当時の昭和43年1月19日の大学設置審議会大学基準分科会において決定された「芸術工学部の基本的なあり方について」の中に、次のように示されている。1) 一般技術を人間生活に適切に利用するために、技術の基盤である科学と、人間精神の最も自由な発現である芸術とを総合し、その全体的な精神によって技術の進路を計画し、その機能の設計について研究することを目的とする。2) 現代社会の組織の複雑化、大学卒業者の活動分野の拡大に伴い、在来の特門家のほかに人文、社会、自然の諸科学にまたがる知識と芸術的感性を基盤とする総合的な設計家が要求されつつあり、この要請に応えることを目的とする。



キャプション

タイトル (65pt)

サブタイトル (36pt)

Title in English (32pt)

芸工太郎 (32pt) GEIKO Taro

2014年入学 | 音響設計学科 Department of Acoustic Design (18pt)

分類: 卒研 / 修士 / コンペ / 課題等

作品 / 論文: 作品

制作年度: 2017年度

課題概要: 映像 / 音楽等

受賞等: ○○優秀賞等

キャプション

キャプション

キャプション

キャプション

芸術工学部教育の目的、性格については、本学の設立当時の昭和43年1月19日の大学設置審議会大学基準分科会において決定された「芸術工学部の基本的なあり方について」の中に、次のように示されている。1) 一般技術を人間生活に適切に利用するために、技術の基盤である科学と、人間精神の最も自由な発現である芸術とを総合し、その全体的な精神によって技術の進路を計画し、その機能の設計について研究することを目的とする。2) 現代社会の組織の複雑化、大学卒業者の活動分野の拡大に伴い、在来の特門家のほかに人文、社会、自然の諸科学にまたがる知識と芸術的感性を基盤とする総合的な設計家が要求されつつあり、この要請に応えることを目的とする。これを受けて、本学の学則の第1条には、本学の目的として、「本学は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、技術を人間生活に適切に利用するために、技術の進路を計画し、その機能の設計について研究するとともに、人文、社会、自然にまたがる知識と芸術的感性を基盤とする設計家を養成することを目的とする。」と明記している。